



学校だより

令和元年 6月28日
7月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

運動会を終えて

副校長 飯島 慶裕

子供たちが楽しみにしている夏休みまで、あと3週間あまりとなりました。

先日の運動会には、多くの保護者や地域の皆様に参加いただき、無事終わることができました。また、たくさんの温かい御声援をいただき、ありがとうございました。

今年度の運動会のスローガン「新しい時代 みんなで協力 つなげ！心のバトン」に向けて、子供たちは、練習から友達と協力して取り組み、当日もその成果がよく表れていました。また、演技や競技だけでなく、係の準備や仕事でも協力して取り組んでいました。特に応援団は、雨用プログラムで徒競走が6学年続いたにもかかわらず、ずっと声を出して応援していました。その姿を見て、改めて一小の素晴らしさに感激し、思わず応援団にも「頑張れ。」と声をかけていました。PTAの皆様やおやじの会の皆様には、会場の受付・安全管理だけでなく、テントや用具の片付けをお手伝いいただきまして、ありがとうございました。

わたしたちは、いろいろな場面でこの「頑張れ」という言葉を使います。もう少しでできそうなときに「頑張れ」。諦めかけているときに「頑張れ」。失敗したときにも「頑張れ」。子供たちは、いつも大人から期待され、それに応えようとその子なりに、いつだって頑張っています。だから子供たちは、「足りない思い」や「できていない思い」をいつも心の片隅に抱えているのかもしれませんが。そのために、自分はできないのだと責めたり、どうしていいのかわからなかったりしているのかもしれない

せん。

先日、2年生の道徳「ぶらんこ」の授業を参観しました。子供のおさるさん、うさぎさん、りすさんがこしらえた小さなブランコをくまさんが壊してしまうお話です。授業の最後で2年生の子供は、「サッカーでミスしたのに、ドンマイと言ってもらったとき、友達がいてよかった」と発表していました。わたしたち大人も、いつも「頑張れ」と声援するだけでなく、「よくここまで頑張ったね。」「このくらい失敗しても大丈夫だよ。ドンマイ。」と子供たちに伝える必要があるのではないかと思います。子供たちにとって、認められることが一番の安心感につながります。第一小学校では、保護者・地域の皆様と一緒に、このような雰囲気のある学校づくりに取り組んでまいります。



ところで、今年の運動会は、調布中学校が6月1日に運動会を実施すること、大型連休後の練習日程が厳しいことを考慮し、本校と石原小学校は6月8日(土)実施となりました。しかし、この時期は例年梅雨入りの時期のため、当日も運動会実施が危ぶまれました。運動会中も、雨雲の動き予想をネットの情報で見ながら確認し、プログラムを変更しました。そのため、1年生の玉入れ競技を見ることができなかった保護者の皆様に、改めてお詫び申し上げます。来年度に向けて、雨天時の対応やプログラム変更の連絡方法について、保護者の皆様のアンケートを参考にしながら改善してまいります。今後も、本校の教育活動に御協力をよろしくお願いいたします。

7月の生活目標 物を大切にしよう

物の豊かな社会に生きる子供たち。物を大切にする心を育て、自分の持ち物や人の持ち物、学校の物を大切にする習慣を培いたいと思っています。

「自分の持ち物には名前を書くこと」や「掃除用具や食器などみんなで使うものは、正しく使い最後までをしっかりとすること」を重点的に指導していきます。